

国際セミナー

AI時代の人間中心の 教育を考える

イノベーション・インクルージョン・そして責任

AIや教育テクノロジーは、教育をどこまで変えるのでしょうか。そして、AI時代だからこそ、人間が担うべき教育とは何でしょうか。本セミナーでは、AI、AACを含む支援技術、インクルーシブ教育、学校現場での実践をつなぎ、「イノベーション」「インクルージョン」「責任」の視点から、人間中心の教育の未来を考えます。

2026年 12月12日(土) 10:30～16:30 開場 10:00

広島国際会議場 地下2階 中会議室コスモス & オンライン

(広島県広島市中区中島町1-5)

参加無料

手話通訳・要約筆記あり

日・英同時通訳あり

要申込

基調講演 Keynote Speaker



人間中心のコミュニケーション支援
～AACとアクセスから考えるインクルージョン～

ミシェル・マッケルヴィー

ネブラスカ大学リンカーン校(アメリカ合衆国)



AI・教育・デジタル改革の政治性
～AI時代に人間中心の教育を
実現するには何が必要か?～

ニール・セルウィン

モナシュ大学(オーストラリア)



人間らしさを大切にする教育へ
～AIがどのように教師を支え、
すべての学習者を包摂できるのか～

ジャミラ・ビンティ・カディル

マレーシア教育省(マレーシア)

講演 Speaker



人の可能性を広げるAIとロボット
～人間拡張の視点から、これからの教育を考える～

栗田 雄一

広島大学(日本)



テクノロジーを学校現場へ
～特別支援教育におけるデジタル技術の活用～

川口 辰之進

国立特別支援教育総合研究所(日本)

パネルディスカッション Panel Discussion

AI時代に人間が担い続けるべきものは何か?
～教育・インクルージョン・そして責任を再考する～



対面参加・オンライン参加(Zoom)

←申し込みはこちらから

※申込締切: 12月9日(水)正午

<https://forms.cloud.microsoft/r/RuRe15aNeC>

定 員: 100名(会場)

お問合せ: d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp

(広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 マネジメント部門)





プログラム

10:00-
10:30 受付・開場

開会挨拶

広島大学 ダイバーシティ&
インクルージョン推進機構長

10:30-
10:40 島田 昌之

国立特別支援教育総合研究所
理事長

青木 隆一

趣旨説明

10:40-
10:45 広島大学 ダイバーシティ&
インクルージョン推進機構 教授

川合 紀宗

基調講演 1

10:45-
11:30 ミシェル・マッケルヴィー

基調講演 2

11:30-
12:15 ニール・セルウィン

休憩

12:15-
13:15

基調講演 3

13:15-
14:00 ジャミラ・ビンティ・カディル

講演 1

14:00-
14:30 栗田 雄一

講演 2

14:30-
15:00 川口 辰之進

休憩

15:00-
15:15

パネルディスカッション

AI時代に人間が担い
続けるべきものは何か?

15:15-
16:15 ～教育・インクルージョン・
そして責任を再考する～

モデレーター

広島大学 大学院
人間社会科学研究科 教授

氏間 和仁

閉会挨拶

16:15-
16:30 広島大学 ダイバーシティ&
インクルージョン推進副機構長

坂田 桐子



登壇者紹介

基調講演 Keynote Speaker



ミシェル・マッケルヴィー

ネブラスカ大学リンカーン校 (アメリカ合衆国)
特別支援教育・コミュニケーション障害学科 学科長・教授

人間中心のコミュニケーション支援

～AACとアクセスから考えるインクルージョン～

Keynote
Speaker

1

マッケルヴィー教授は、後天性神経原性コミュニケーション障害、外傷性脳損傷、運動性発話障害のある成人を対象として、拡大・代替コミュニケーション (AAC) に関する研究に取り組んでいる。また、臨床経験も豊富であり、後天性の神経疾患に起因するコミュニケーション障害のある小児や成人に対して幅広い支援を提供してきた。



ニール・セルウィン

モナシュ大学 (オーストラリア)
メディア・映画・ジャーナリズム学部 副学長特別荣誉教授

AI・教育・デジタル改革の政治性

～AI時代に人間中心の教育を実現するには何が必要か?～

Keynote
Speaker

2

セルウィン教授は、1990年代半ばから、デジタル教育に関する研究及び執筆活動に取り組んできた。デジタル教育分野を代表する国際的な研究者として高く評価されており、特に、デジタル技術を活用した教育を実際の教育現場で展開する際に生じる現実的な制約や課題に関する研究を専門としている。



ジャミラ・ビンティ・カディル

マレーシア教育省 特別支援教育局 (マレーシア)

人間らしさを大切にする教育へ

～AIがどのように教師を支え、
すべての学習者を包摂できるのか～

Keynote
Speaker

3

ジャミラ・カディル氏は、教育分野で30年、うち18年間は特別支援教育に従事してきた。現在は、マレーシア教育省特別支援教育局に所属している。同省の要職を歴任し、2023年から東南アジア教育大臣機構特別支援教育地域センター長を務め、東南アジア地域のインクルーシブ教育及び特別支援教育の発展に貢献した。2026年よりサンウェイ大学教育学部の客員教授も務める。

講演 Speaker



栗田 雄一

広島大学 (日本)
大学院先進理工系科学研究科 教授

人の可能性を広げるAIとロボット

～人間拡張の視点から、これからの教育を考える～

Speaker

1

栗田教授は、ロボット工学、バーチャルリアリティ、ハプティクス、人間拡張の分野で20年以上の研究キャリアを持ち、100本を超える学術論文を出版している。また数多くの産学共同研究に基づく研究成果の社会実装にも精力的に取り組んでいる。



川口 辰之進

国立特別支援教育総合研究所 (日本)
西日本ランチオフィス 総括研究員

テクノロジーを学校現場へ

～特別支援教育におけるデジタル技術の活用～

Speaker

2

川口氏は、肢体不自由教育及び重度・重複障害教育を専門として、ICTや支援機器を活用した教育実践、認知発達を踏まえた学習支援や教育課程に関する研究に従事している。学校・大学・関係機関との連携を通して、障害のある子どもの主体的な学び、コミュニケーションの促進、社会参加の充実に向けた実践的研究・研修に取り組んでいる。